

教室に笑顔を！ ～互いに学び合う、充実した授業づくり～

県北教育事務所では、未来を拓く子どもたちに「確かな学力」を身に付けさせるため、互いに学び合う授業を大切にしています。子どもたちが互いに学び合うことにより、

○ 習得した知識・技能を活用する力が付き、思考力・判断力・表現力等を高めることができるようになります。また、知識・技能の定着が確かなものになります。

○ 友達との関わりを深め、共に学ぶ楽しさを実感し、思考を共有することで互いのよさに気づき、豊かな人間関係を育むことができるようになります。

この冊子では、こうした子どもたちの姿を実現するためのポイントや学習の基盤となることを具体的に示しました。

先生方の教室が「わかった！」「できた！」という子どもたちの笑顔、それを見て子どもの成長を喜ぶ先生方の笑顔でいっぱいになる授業づくりの資料としてご活用いただければ幸いです。



目次



1	互いに学び合う、充実した授業づくりのポイント	1
	＜授業づくりの土台＞	
2	学級・学習集団づくり	2
	＜授業づくりのポイント1＞	
3	実態を踏まえ、系統性を図った単元構想	4
	＜授業づくりのポイント2＞	
4	ねらいからまとめまでの整合性を図り、 手立てを明確にした授業設計	6
	＜授業づくりのポイント3＞	
5	必然性のある学習課題の設定と 見通しをもたせる工夫	8
	＜授業づくりのポイント4＞	
6	思考を促し、見取る教師の働きかけ	10
	＜授業づくりのポイント5＞	
7	「学び合い」による「思考の共有と吟味」	12
	＜授業づくりのポイント6＞	
8	振り返りとノート指導を生かしたまとめの充実	14
9	学びを支える学習基盤づくり ～子どもに達成感と充実感を与えるために～	16
10	一人一人の子どものよさや可能性を 最大限に引き出すために ～全ての学級に生かせる特別支援教育の視点から～	17
11	連続性を意識した幼小中の接続へ ～幼稚園教育の視点から～	18
12	中高の学びをつなぐための課題と連携の在り方 ～高等学校の視点から～	19